

A	優	良
B	良	好
C	課	題 含
D	要	改 善

施設名	ひまわり荘	管理者	川西市 社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	評価区分	A
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】		
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	障害者総合支援法、市条例、条例施行規則に則り、障害福祉サービス受給者証の交付を受けた18歳以上の障がい者を対象に、生活介護を提供しました。また、内部監査を継続し、法令遵守に努めました。結果、日常生活支援を受けながら、日中生活を送れる場所として、有効に活用していただきました。	A	法令に基づき、適切な支援を実施している。	意見なし		
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	B	利用に係る情報はホームページで提供しています。また、市養護学校在校生には見学や体験の機会を提供しています。利用に不安のある方には「見学」「半日」「一日利用」の3段階の体験利用も必要に応じて受け入れる予定でしたが、問い合わせは複数あったものの新型コロナウイルスの影響により体験利用はありませんでした。契約時には重要事項説明書で説明し、署名捺印をいただきます。	B	見学や体験の機会を提供し、不安のある方には体験利用も実施するなど、利用者へきめ細やかな対応が行われているものの、コロナ禍で新規体験利用にはつながらなかった。	コロナ禍で全国的にも利用が減っていることもあるが、今後、利用者が増えるよう周知を図ること。		
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	障がい者団体のスポーツ大会に参加したり、地域ボランティアを積極的に受け入れ、交流に努め、施設に対する理解を得て広報活動に充てる予定で計画していましたが、新型コロナウイルス感染予防対策により今年度はすべて実施できませんでした。市養護学校とは、連携を密に行い体験実習を実施する事ができました。	A	新型コロナウイルスの影響により、効果的な営業や広報活動はできなかったが、川西養護学校と連携し体験実習を実施した。	意見なし		
< 課題 >		新型コロナウイルスに感染され長期の入院、また、感染症対策で利用自粛等があり、利用実績は減少し、新規利用者の確保が課題となります。また、全職員が制度理解と法令遵守の意識を継続して持つ必要があります。		新規利用者確保のための新たな取り組みが求められる。	意見なし		
< 改善内容 >		障がい者福祉の向上のため事業を継続しました。新型コロナウイルス感染予防対策として、職員の抗原検査の実施、常時マスクの着用、定期的な換気、密にならない配慮、職員の検温、手洗、手指消毒、介護用手袋の都度交換、器具備品の消毒などを徹底しました。		引き続き徹底して感染対策に取り組まれます。	意見なし		
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	主に重度の身体障がい者に対し、個別支援計画書を作成し、送迎、入浴、排泄、食事等の日常生活支援を提供しました。また、創作活動に関しても障害者美術展等に出席するなど、利用者の創作活動意欲向上に努めました。コロナ禍のため、春の「お花見」秋の「紅葉狩り」などは車両から降りずドライブ形式で行いました。また、敷地内テニスコートを使用し「風あげ」や「ゲーム大会」を実施し利用者の気分転換を図りました。(利用者・職員のみ参加)	A	一人ひとりのニーズに応じた適切な支援が提供されている。また、コロナ禍において、工夫を凝らして利用者の社会参加が積極的に行われている。	意見なし		
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	B	コロナ禍での利用自粛等があり、欠席時の振替利用や利用回数増の積極的な働きかけはできませんでした。利用者の必要に応じた利用変更や追加利用は柔軟に受け入れました。	B	新型コロナウイルスの影響を受けたものの、一定の創意工夫が図られている。	意見なし		
< 課題 >		新型コロナウイルス感染予防対策の徹底など、利用者安心して選ばれる施設になるよう、随時、ニーズに合わせたプログラムやレクレーションの見直しが必要です。		新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、安定的なサービスを提供すること。	意見なし		
< 改善内容 >		機関紙内容を見直し、施設のコロナ感染予防対策等の情報を記載するなど、安心してご利用いただけるように努め、また、送迎時のご家族とのコミュニケーションや連絡ノートを活用することで疑問や不安など早期に解決し、利用回数の促進に努めています。		利用者及びその家族の疑問の解決、不安解消に取り組むなどし、利用者には選ばれる事業所となるよう創意工夫を期待する。	意見なし		
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度		
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	令和3年度は、利用者の要望の内容を把握するため、「感染対策についての情報提供」「コロナ禍における行事に関するアンケート」「理学療法士訓練」に特化して実施しました。	A	目的を明確に定め、より意義のあるアンケートを行うことができています。	意見なし		
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	令和3年度のアンケート結果から理学療法士による機能訓練の継続実施。また、「所外活動の実施方法の検討」「外部ボランティアの受け入れの延期」等を行い、施設運営に理解を得ています。	A	利用者のニーズを的確に把握し、それに応えることができています。	意見なし		
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	令和3年度は苦情がありませんでした。日々の連絡帳を活用し、利用者やご家族の相談、質問に対しその都度返答を記入しています。また、内容によっては、訪問やお電話で説明しています。	A	適切に行われている。	利用者の施設内の様子を、連絡ノートなどを活用することで、日頃から情報交換されている。		
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	普段から施設長やサービス管理責任者が可能な範囲で送迎車に同乗し、ご家族と対面して積極的にコミュニケーションを図るようにしています。連絡帳の活用や毎月の機関紙発行を継続し、施設でのご様子を伝え、施設運営に理解を得られるように努めました。	A	具体的な取り組みを実施している。	意見なし		
サービスの質を向上させるため具体的な取り組みを行ったか。また、取り組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	積極的にヒヤリハット記録を記載し、職員皆で共有しました。個別の食事アンケートの結果を受けて、ご家族と相談し、ご飯等の形態を家庭と同じに変更しました。入浴介助マニュアルの整備・見直しを行いました。サービスの標準化が進みました。	A	適切に行われている。	意見なし		
< 課題 >		コロナ禍で中止になった所外行事や実施できない施設行事等が多いため、さらなる日中プログラムの見直しが必要です。また新型コロナウイルス感染症が少しでも早く収まるよう全ての人の協力が必要です。		コロナ禍でも行事を行えるような感染症対策や、新たな取り組みを期待する。	意見なし		

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	ひまわり荘	管理者	川西市 社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
<改善内容>		理学療法士による機能訓練は、川西市と協議し、嘱託医師と相談の上、令和2年度5月より継続・実施する事ができ、徐々に訓練を受ける利用者も増えています。			今後も利用者のニーズを把握し、サービス向上に努めること。		意見なし	
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A			A			2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	
(2-1) 経費の節減	A			A			(2-1) 経費の節減	
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	水道光熱費は、節水の慣行、照明、空調の節電などを職員に周知徹底しました。車両費は、利用者の増減に合わせて送迎ルートの効率化を行い、燃料費削減に努めました。人件費において、利用数に合わせて派遣看護師や非常勤職員の出勤を調整しました。結果として経費節減の効果をすることができました。		A	今後も経費節減に努められたい。		意見なし	
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	業務委託業者との契約や備品(1万円以上)を購入する際には、複数の業者から見積もりを取り、安価な業者を選定しました。発注においては1万円以下の物も品質に支障のない範囲で低価格の物を購入し経費削減に努めました。保守点検においては併設する満寿荘と同日実施の要件を入れ、経費削減に努めました。		A	適切に経費節減が図られている。		意見なし	
<課題>		施設の老朽化に伴い修繕の必要性が生じます。また、「蛍光灯の生産が減少されている」との事から、照明のLED化を順次進める必要があります。			必要性、費用対効果、優先順位などについて検討を重ね、計画的に修繕すること。		意見なし	
<改善内容>		修繕については、緊急性があるのか、予算計上するのかなど川西市と相談連携し、改修に努めます。			引き続き経費削減に努め、真に必要なものは市と協議されたい。		意見なし	
(2-2) 収入の増加	B			B			(2-2) 収入の増加	
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取組みを行ったか。	B	コロナ禍で緊急事態宣言が発令され、クラスターが起これば密を避け、利用自粛をされたり、自粛をお願いしたりする状況でした。密を避けるため積極的な振替利用等の働きかけはせず、利用自粛者に在宅支援を行いました。		B	感染対策を徹底するとともに、在宅支援を行うなど工夫を凝らした取組みができています。		意見なし	
収入の増加など取組みの効果は得られたか。	B	新型コロナウイルスに感染され、長期入院される。また、利用回数を制限(減らす)される等があり障害福祉サービス等事業費収入は減少しました。		B	新規利用者確保のために、効果的な取組みを検討されたい。		意見なし	
<課題>		収入増のため、新規利用者の確保が課題となります。			課題解決に向けて検討を重ね、効果的な取組みが行われることを期待する。		意見なし	
<改善内容>		川西市立川西養護学校や障がい者基幹相談支援センター、相談支援事業所との連携強化を継続し、新規利用者の確保に努めます。			関係機関との連携を強化し、新規利用者の確保につながる方策に取り組むこと。		収入を上げるため、PRなど工夫し、利用率向上に努めること	
(2-3) 収支のバランスなど	A			A			(2-3) 収支のバランスなど	
収支のバランスは、適切であったか。	A	新規利用者が1名ありましたが、コロナ過での利用自粛等もあり障害福祉サービス等事業費収入は減収となりました。その中で人件費(派遣看護師、臨時職員の勤務調整)水道光熱費・車両費の節減などにより収支バランスは適切に処理できました。		A	工夫を凝らし、収支バランスをとろうと努めている。		意見なし	
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。	A	施設整備等補助金収入などの支援により、感染予防対策費用として効果的効率的な執行ができました。その他の支出についても支障がなければ安価なものを選択購入し、効果的かつ効率的な執行をしました。		A	適切に行われている。		意見なし	
収支の内容に不適切な点はなかったか。	A	未払金、未収金、前払金等明確であり、収支の内容に間違いはなく、適切に執行しました。		A	適切に行われている。		意見なし	
<課題>		施設が老朽化しているので、突発的に修繕の必要性が生じる可能性があります。			必要性、緊急性などについて検討すること。		意見なし	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	ひまわり荘	管理者	川西市 社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	
区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
<b>&lt; 改善内容 &gt;</b>			令和2年度に新型コロナウイルス感染予防対策費用として、国から補助金が入り、女子トイレ換気扇修繕、加湿空気清浄機、洗濯機、乾燥機、手指消毒液、マスク、介助用手袋などの改修、購入により施設の衛生面での機能が向上しました。また、兵庫県より公費負担による抗原検査キットの支給を受け、検査を実施し感染対策に努めました。		補助金を活用し、利用者を第一に考えた運営がなされている。	意見なし
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み(適正性)		A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み(適正性)
(3-1) 管理運営の実施状況		A		A		(3-1) 管理運営の実施状況
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。		A	管理者(常勤1名)医師(非常勤1名)サービス管理責任者(常勤1名)看護職員(常勤1名・非常勤1名)生活支援員(常勤2名・非常勤7名)等を配置し、基準を満たしています。	A	適切な人員配置がなされている。	意見なし
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。		A	職員個別研修計画を作成し、全職員に研修参加機会を設け、研修参加後は報告書の提出、職員会議で研修報告会の実施、研修資料の供覧を行いました。コロナ禍のため、外部研修は受講せず、新型コロナウイルス感染予防対策等の研修をWEBやDVD、資料等で実施しました。	A	コロナ禍においても研修への参加機会を確保し、職員の能力向上に努めている。	意見なし
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。		A	軽微な修繕は職員が行うなど経費削減に努め、職員全体の介護のスキルアップと共に個別に提供するサービスの標準化を目指し、施設の管理運営を適切に行いました。	A	適切に行われている。	意見なし
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。		A	利用者の要望である理学療法士による訓練は、川西市との協議、嘱託医師の協力により令和2年5月から、継続・実施することができ訓練を受ける利用者も増えております。	A	新たな取り組みについて、検討を進め実施されている。	意見なし
<b>&lt; 課 題 &gt;</b>			公的な施設として、職員全員が法令を正しく理解し、基準に基づいた質の高いサービスが提供できるように、研修や勉強会等を継続し内容を職員全員で共有していく必要があります。		引き続き、質の高いサービス提供及び適切な施設運営に資するため、効果的な研修を実施されたい。	意見なし
<b>&lt; 改善内容 &gt;</b>			理学療法士による訓練を令和2年5月から嘱託医の指示(書)に従って継続し実施しております。また、理学療法士の助言により支援員が行う機能訓練も内容を充実させ実施しています。		今後もサービス向上に努めることを期待する。	意見なし
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など		A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。		A	県に提出するチェックリストにて、法令に沿って事業実施できているか自己チェックを行い、法人内部監査チームが県のチェックリストに沿って内部監査を実施することでチェック体制を強化しています。また、職員の法令遵守に対する意識を高めるため、他施設の内部監査の指摘事項等を回覧しています。	A	適切に行われている。	意見なし
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。		A	社協の個人情報保護規定に従って取扱いを適切に行っています。また、利用者に対しては個人情報使用同意書を取り、利用者に関わる書類は鍵付きロッカーで保管し、退社時には事務所の施錠を徹底しています。	A	適切に行われている。	意見なし
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。		A	「ヒヤリ・ハット」の記録、事故報告書を活用し、職員会議で再発防止策を検討し全職員に情報共有しています。	A	適切に実施されている。	意見なし
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。		A	年に2回、併設する満寿荘と合同消防総合訓練を実施しています。防犯対策として警備会社直通ボタン、防犯カメラを設置しています。また、防犯ネット(インターネット)を活用し情報収集を行っています。(令和4年度、防犯カメラの増設を検討しています)	A	適切である。	意見なし
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。		A	緊急・災害・感染症・不審者対応等マニュアルを作成し、周知徹底をしています。また、適宜マニュアルを更新しています。	A	適切な対応がなされている。	意見なし
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。			非該当		非該当	非該当
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。		A	前月の15日頃までに、次月の利用希望日を確認し希望日に利用できるよう通所予定を作成しています。15日以降や当日であっても、受け入れが可能であれば希望に対応しています。	A	適切に行われている。	意見なし
<b>&lt; 課 題 &gt;</b>			新型コロナウイルス感染予防対策の影響により、福祉避難所開設・運営訓練が実施できませんでした。市と協議の上作成したマニュアルの見直し更新はできていません。		近年大規模な災害が全国的に多発していることから、マニュアルの見直しや、災害に備えた訓練などを感染対策を徹底したうえで適切に実施する必要がある。	意見なし

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	ひまわり荘	管理者	川西市 社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
<改善内容>		新規職員に対し施設マニュアル等の研修を実施し、法令順守の意識を徹底しました。			引き続き法令順守を徹底すること。	
意見なし						
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価ランク	A			A		
・評価できる内容		職員のみまわり荘での個別目標の設定や個別研修計画を作成することで、職員の施設業務に対する意識向上を図っています。また、全職員に研修機会を設けることで、法令順守の意識やサービスの質の向上(新型コロナウイルス感染予防対策の実施など)に努めました。 創作活動については、兵庫県肢体不自由者美術展・障がい者文化作品展などに出品し、利用者の創作活動の成果と創作意欲の向上に努めました。また、コロナ過であるため、所外活動の代替レクリエーションを実施し利用者の気分転換を図りました。			コロナ禍において、工夫を凝らし、全職員に研修機会を設けるなど職員の資質向上に対して積極的に取り組んでいる。また、創作活動についても、作品展への出展等、目標をもって積極的かつ具体的な取り組みが行われており、質の高い支援が提供されている。	
意見なし						
・令和3年度に改善した内容		理学療法士によるリハビリについて、市と協議の上、嘱託医師の指示(書)により、令和2年5月から理学療法士訓練を継続実施し、その助言に従った支援員による機能訓練も継続実施しています。また、コロナ過であるため、所外活動を中止し代替レクリエーションとして、敷地内テニスコートを使用した「風揚げ大会」や「ミニ運動会」等を実施し利用者の気分転換を図りました。			利用者のことを第一に考え、ニーズを的確に把握し、理学療法士訓練及び機能訓練を実施した。また、コロナ禍で行事を中止するのではなく代替行事を行うなど、利用者のことを考えた運営が図られている。	
希望される人が訓練を受けられるよう、月2回(必ず月1回以上)実施されている。						
・令和3年度に改善したことによる効果		理学療法士による訓練を継続し実施したことで、利用者の関節等の拘縮予防および可動域の維持、筋力維持に効果がありました。また、理学療法士の専門的な施術により本人のリハビリ意識向上にもつながっています。専門的な知識による職員および家族への助言等(ご自宅で出来るリハビリ指導)により、機能訓練のレベルアップにもつながっています。			かねてから課題となっていた理学療法士による訓練が開始され、利用者のニーズに寄り添ったサービスの提供ができたことで利用者の意欲や満足度の向上につながった。	
意見なし						
・問題があり次年度以降改善が必要な点		コロナ禍で、福祉避難所開設・運営の訓練ができていません。また、スプリンクラー用の非常電源は設置しておりますが、災害時や災害後の非常電源の確保ができていません。災害用非常電源の設置や電気調理機器等の調達方法など具体的な検討が必要です。			大規模災害が多発する昨今、感染症対策について工夫を重ねた上で災害に備えた訓練などの実施が求められる。	
関係機関などと協力し、避難訓練などの災害対策を進めてもらいたい。						
・改善方法とその時期		福祉避難所開設・運営訓練や非常時の設備について、川西市と川西市社会福祉協議会で協議していくことが必要です。			緊急性、必要性などの観点から優先順位をつけて取り組むこと。	
意見なし						

【記入上の留意点】

- (1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。  
(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。